

交運労協 FAX ニュースNO. 20

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階 発行日 2013年9月6日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 交運労協 関 政治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

近畿・大阪交運労協合同による

「新高速乗合バス移行後の実態調査」を実施！

FAXニュースNo.19で報告のとおり、中央交運労協では8月23日（金）、24日（土）にかけて東京駅（鍛冶橋駐車場、八重洲口側）と新宿駅（新宿西口郵便局、新宿エルタワー前）において、「新高速乗合バス移行後の実態調査」を実施したが、今般、近畿・大阪交運労協合同による調査が行われた。

近畿・大阪交運労協バス部会は、8月1日（木）から完全移行した新高速乗合バス制度後、8月30日（金）21時～8月31日（土）8時にかけて、大阪駅・梅田駅、大阪駅桜橋口旧中央郵便局前、大阪駅桜橋口大弘ビル前、西梅田、梅田スカイビル、梅田プラザモータープールにおいて、「新高速乗合バス移行後の実態調査」を実施した。

高速ツアーバスについては、これまで近畿・大阪交運労協バス部会は、様々な場所（近畿運輸局・バス協・大阪府警）で違法性を訴えてきた。

本調査には都市交評・大阪交通労組、JR連合・JR西労組バス地本、私鉄関西地連・南海バス、中央交運労協の参加で、21時から早朝にかけて実施した。

調査には、中山バス部会長を中心に13名で新設された停留所や駐車場において、バス停の設置状況やバス車両の使用状況、さらには運転者の2人乗務、停留所以外の乗降等について確認を行った。

「梅田プラザモータープール」の駐車場内には、停留所を設け待合所やトイ



レが設置されていた。また、行先と出発時刻を示した案内板が設置され、案内係りがその都度マイクできめ細かく案内をしており、「西梅田」、「梅田スカイビル」には待合所で案内係りがバス乗場まで誘導していき、利用者に対する安全対策もとられていた。

早朝の調査では、次から次と各方面からバスが到着し、誘導員の指示により所定の駐車スペースに停車後、沢山の利用者が大阪駅・梅田駅の方に向かって歩いていった。



誘導員に話を聞いたところ、7月終わりまでは沢山のバスが来ていたが、8月に入り少し減ったとのことであり、また、利用者（乗客）に聞いたところ、バスは時間がかかるが運賃が安く早朝に着くのでよく利用しているとのことであった。

全体的には、各停留所・待合所・駐車場とも案内（誘導）がしっかりと行われており、早朝についても決められた停留所で降車していた。

以上の通り、新制度に基づき、しっかりとした対応が取られていたが、近畿・大阪交運労協バス部会では今後とも繁忙期を中心に定期的に調査を行っていくこととする。

[梅田プラザモータープール]



以上